

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：自給飼料を基盤とした国産畜産物の高付加価値化技術の開発

小課題名：自給飼料多給による高付加価値鶏卵生産技術の開発

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	5 / 5	飼料用米を活用した卵重制御と保存性向上の両方で適切な実験が行われていて、十分な成果が得られている。目的は達成されている。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	5 / 5	鶏卵の価格決定においてサイズを制御することが最も重要な方法の一つであるので、普及性、波及性は大きい。また、消費者の保存性向上に対する関心も高く、成果の有用性は高い。
3 研究の発展性	5 / 5	卵重制御の研究については一定の技術レベルに達したと思われるが、保存性に関連した飼料用米の機能性に関する研究の発展性は高い。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	飼料価格の高止まりや乱高下は養鶏農家の経営にとって大きな不安定要因となっていて、本研究課題の選定は妥当である。
総合評価	5 / 5	課題選定は妥当であり、飼料用米の利用拡大に向けて有用な成果が十分に得られ、当初の研究目標は達成されている。また、今後の研究の種となるものも得られており、発展が期待できる。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

飼料用米の給与によって、自給飼料の積極的活用だけでなく卵重制御技術についても一定の成果を得ることができた。今年度からは引き続き、飼料用米給与による鶏卵の差別化技術の開発に向けて取り組んでいる。

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：畜産物の品質改善

小課題名：機能性を有し美味しい鶏肉生産技術の開発

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	5 / 5	鶏肉の差別化・高品質化に資するため、適切な実験が行われ、多くの成果が得られていて、研究目標は十分に達成されている。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	5 / 5	鶏肉の機能性やおいしさに対する消費者の関心は高く、鶏肉の差別化・高品質化に役立つ複数の成果が得られていることから、成果の普及性や波及性は高いと判断できる。
3 研究の発展性	5 / 5	機能性ペプチドの増加や不快臭物質の低減など興味深い成果が示され、実用化に向けた研究の進展が期待できる。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	鶏肉の機能性やおいしさへの消費者の関心は高く、そのための技術開発への生産者の期待も高いため、本研究課題の選定は妥当である。
総合評価	5 / 5	課題選定は妥当であり、生産者や消費者に望まれる鶏肉生産に向けて有用な成果が十分に得られ、当初の研究目標は達成されている。また、今後の研究の種となるものも得られており、発展が期待できる。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

各種アミノ酸やトレハロースの飼料添加によって、鶏肉加熱時の機能性・嗜好性を向上させることができた。今年度からは引き続き、他の資材も利用しながら、より肉質の優れた鶏肉生産技術の開発に向けて取り組んでいる。